

第4回那覇市地域包括支援センターと急性期病院 退院支援部門との連携研修会 ～身寄りがない方への支援の連携～

- ① 『身寄りがない方が亡くなった際的那覇市（環境保全課）の対応について』
那覇市 環境保全課 主査 屋宜 直紀 氏
- ② 『生保受給者で身寄りがない方が亡くなった際の葬祭扶助に係る制度説明』
那覇市 保護第3課 主幹 柿本 奈央 氏
- ③ 『成年後見人の死後事務について ～事例を通して～』
沖縄県社会福祉士会 成年後見権利擁護委員会 委員長 宮田 英治 氏

○ 日 時：令和8年2月10日（火） 午後4時00分～6時00分

○ 場 所：沖縄県医師会・3階ホール

○ 参加者：66名 { 急性期病院 退院支援部門・那覇市内：13名、那覇市外：8名、
那覇市地域包括支援センター：30名、
居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）：6名、その他：9名 }

【目的】①地域包括支援センターと急性期病院 退院支援部門（MSW、退院支援看護師、医師）の連携強化を図り、患者を中心に切れ目ない在宅移行ができる。

②身寄りがないことを理由に、入退院において不利益にならない体制を整える。

【対象】地域包括支援センター、急性期病院退院支援部門（MSW、退院支援看護師、医師）、介護支援専門員

サマリー アンケートの自由記述では、「具体的な相談方法が分かった」「那覇市で亡くなられていない場合は那覇市は引き取れないと分かった」など、制度や対応の流れに対する理解が深まったとの声が多く見られた。一方で「無縁遺骨の一時保管期間はどの程度か」といった実務上の疑問点や、「活用のイメージがわからない」との声もあり、理解を実践へつなげる段階に課題がある。また、「ACPや終活につながるため、把握した意向は担当へも繋ぐことが大切」との意見に示されるように、事前の意向把握の重要性は共有されつつある。今後は、①対応フローや役割分担の明確化、②具体的事例を用いた検討会、③ACPの視点を平時の相談支援に組み込む体制づくりを進め、制度理解を「知識」にとどめず「実践」へとつなげていく必要がある。

【シンポジスト】
那覇市 環境保全課
墓地行政推進グループ
屋宜 直紀 氏



【シンポジスト】
那覇市 保護第3課
柿本 奈央 氏



【講師】
沖縄県社会福祉士会
成年後見権利擁護委員会
委員長
宮田 英治 氏



【司会】
在宅医療担当理事
上間 一 氏



全体風景

グループワーク・発表



第4回 那覇市地域包括支援センターと急性期病院 退院支援部門との連携研修会 ～身寄りがない方への支援の連携～

日時：令和8年2月10日（火）16:00～18:00

場所：沖縄県医師会・3階ホール 参加者：66名

急性期病院 退院支援部門：
 <那覇市：13名> 沖縄協同病院、沖縄赤十字病院、那覇市立病院、
 *おもろまちメディカルセンター、*那覇ゆい病院
 <那覇市外：8名> ハートライフ病院、浦添総合病院、南部徳洲会病院
 *とよみ生協病院、*大浜第二病院

那覇市地域包括支援センター：
 <30名> 石嶺、城西、繁多川、松川、識名、安里、古波蔵、国場、
 新都心、安謝、泊、城岳、かなぐすく、小禄、高良

**居宅介護支援事業所
 (ケアマネジャー)：** <6名> ケアプランセンターしんらい那覇、しなさき居宅介護支援事業
 所、なごみ居宅介護支援事業所、特定有料老人ホーム 松風
 邸、那覇市安謝居宅介護支援事業所、老人保健施設 池田苑

その他： <9名> 浦添市役所（いきいき高齢支援課）、那覇市役所（環境保全
 課、保護課）、南部地区医師会 南部在宅医療・介護支援セン
 ター、浦添市医師会 浦添市在宅医療・介護連携支援センター
 うらっしー、中部地区医師会 在宅ゆい丸センター

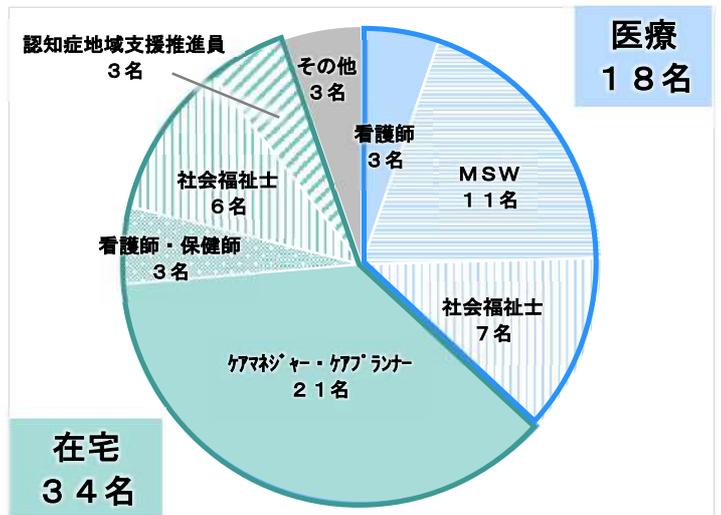
*急性期病院以外の医療機関も参加あり

アンケート回答者：55名（回収率：83.3%）

1. 所属と職種

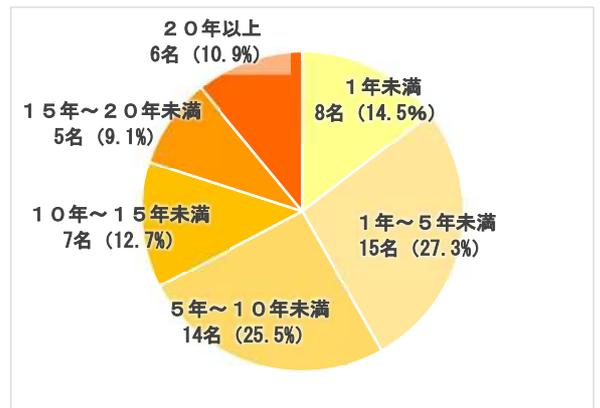
医療		18名	32.7%
内訳	看護師	3名	(14.3%)
	MSW	11名	(52.4%)
	社会福祉士	7名	(33.3%)
在宅		34名	61.8%
内訳	ケアマネジャー・ケアプランナー	21名	(63.6%)
	看護師・保健師	3名	(9.1%)
	社会福祉士	6名	(18.2%)
	認知症地域支援推進員	3名	(9.1%)
その他		3名	5.5%
合計		55名	100%

*職種は複数回答あり



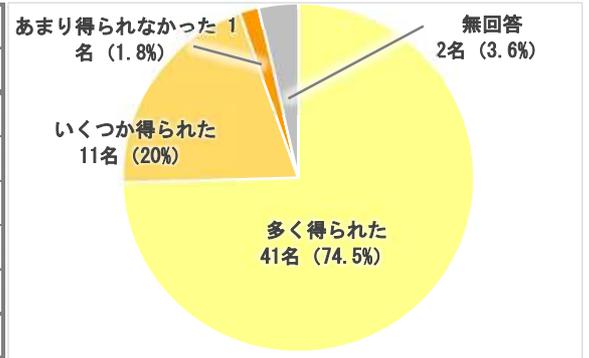
2. 現在の業務の経験年数

選択肢	医療		在宅		その他		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	2	11.1%	5	14.7%	1	33.3%	8	14.5%
1年～5年未満	3	16.7%	12	35.3%	0	0.0%	15	27.3%
5年～10年未満	3	16.7%	10	29.4%	1	33.3%	14	25.5%
10年～15年未満	2	11.1%	5	14.7%	0	0.0%	7	12.7%
15年～20年未満	4	22.2%	0	0.0%	1	33.3%	5	9.1%
20年以上	4	22.2%	2	5.9%	0	0.0%	6	10.9%
合計	18	100%	34	100%	3	100%	55	100%



3. 屋宜 直紀氏（那覇市 環境保全課）の話から、新しい視点や気づきを得られましたか。

選択肢	医療		在宅		その他		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
多く得られた	15	83.3%	23	67.6%	3	100.0%	41	74.5%
いくつか得られた	1	5.6%	10	29.4%	0	0.0%	11	20.0%
あまり得られなかった	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%
得られなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	5.6%	1	2.9%	0	0.0%	2	3.6%
合計	18	100%	34	100%	3	100%	55	100%



【ご意見・ご感想について】

◆ 医療

- ・ 住所地で亡くなられていない場合は、そこで引き取ることができないことが分かった。
- ・ 行旅中や身元不明の方の場合、環境保全課ではなく保護課の管轄と知った。
- ・ 具体的な相談方法が分かった。
- ・ 無縁遺骨の一時保管期間はどの程度でしょうか。

◆ 在宅

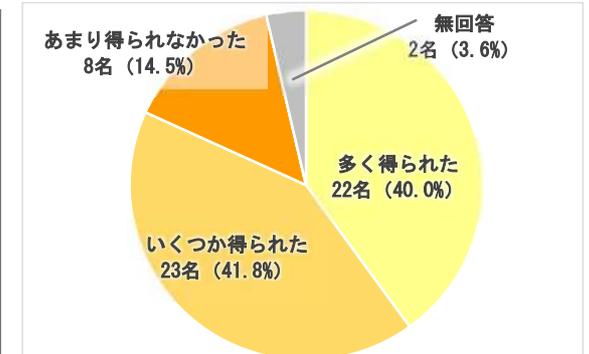
- ・ 初めて聞いたので、勉強になった。流れが分かり安心できた。
- ・ 身寄りがない方が亡くなった際、葬祭業者の調整や火葬を市町村が対応できることを初めて知った。今後のために有益な情報だった。
- ・ とても参考になりました。もう少し聞きたかった。
- ・ 身寄りのない方の支援について新しい知識が増えて勉強になった。
- ・ 葬祭・ご遺体引き取りができる条件を知ることができた。
- ・ 環境保全課の役割について詳しく知ることができた。
- ・ 分かりやすい説明で、とても良かった。頼りになる感じでありがたい。
- ・ 色々な法律があり、良く分かる説明で良かったです。
- ・ 制度について確認していきたい。
- ・ 亡くなった地域の環境保全課へ連絡する。
- ・ とても勉強になりました。各市町村の情報を集めることは大切だと感じた。

◆ その他

- ・ 分かりやすかった。
- ・ 環境保全課、保護課につなぐ！ということを確認に理解できたので良かったです。

4. 柿本 奈央氏（那覇市 保護課）の話から、新しい視点や気づきを得られましたか。

選択肢	医療		在宅		その他		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
多く得られた	9	50.0%	12	35.3%	1	33.3%	22	40.0%
いくつか得られた	6	33.3%	15	44.1%	2	66.7%	23	41.8%
あまり得られなかった	3	16.7%	5	14.7%	0	0.0%	8	14.5%
得られなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	2	5.9%	0	0.0%	2	3.6%
合計	18	100%	34	100%	3	100%	55	100%



【ご意見・ご感想について】

◆ 医療

- ・手続きの流れが分かりやすかった。
- ・行旅病人（特に外国人）が亡くなった場合は、生活保護課へ連絡することで良いでしょうか。

◆ 在宅

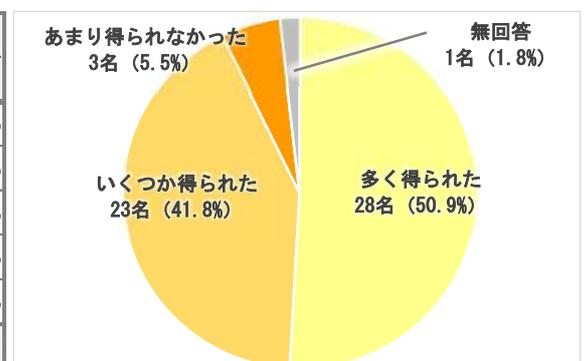
- ・振り返りとなり、再確認できた。
- ・参考になりました。
- ・時間がなく説明が駆け足になってしまったため残念だった。
- ・説明時間が短く残念だった。より具体的に聞きたかった。
- ・駆け足だったため、理解が追いつかなかった。
- ・時間の都合上、駆け足だったのが残念でした。もう少しゆっくり聞きたかったです。資料は分かりやすくとても良かったです。
- ・資料を読み込みたい。
- ・もう少し具体例が欲しかった。
- ・保護の方は保護課へ連絡。

◆ その他

- ・法的根拠が示されていて分かりやすかった。

5. 宮田 英治氏（沖縄県社会福祉士会 成年後見権利擁護委員会 委員長）の話から、新しい視点や気づきを得られましたか。

選択肢	医療		在宅		その他		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
多く得られた	10	55.6%	16	47.1%	2	66.7%	28	50.9%
いくつか得られた	5	27.8%	17	50.0%	1	33.3%	23	41.8%
あまり得られなかった	2	11.1%	1	2.9%	0	0.0%	3	5.5%
得られなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%
合計	18	100%	34	100%	3	100%	55	100%



【ご意見・ご感想について】

◆ 医療

- ・後見人は、火葬はできても葬儀は出来ないことを知った。
- ・成年後見人の仕事内容が分かりました。
- ・成年後見人は後見相当の方のみ、死後事務を行うことができるとのこと。
- ・成年後見制度申請中に施設入所の手続きを進めても問題ないでしょうか。（支援者の意向で施設を決めても良いのか）
- ・今後類型が統一されるとどうなるのでしょうか。

◆ 在宅

- ・最新の状況も聞けたので良かった。
- ・後見人が付くことで、色々助かることが多いと分かりました。後見人がつくまでが大変だと思います。
- ・参考になりました。
- ・成年後見制度の基礎を改めて学び直すことができた。

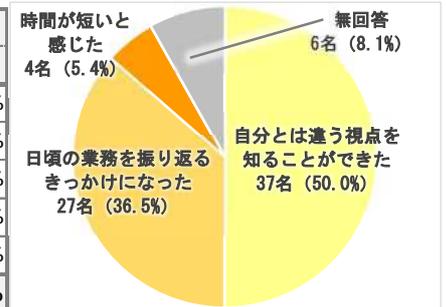
- ・後見人のサポートできる範囲について深く知ることができた。
- ・駆け足だったため、理解が追い付かなかった。
- ・難しかった。
- ・成年後見制度は難しいけど、分かりやすく説明していただき良かったです。もっと話を聞きたかったです。
- ・成年後見制度についてさらに理解を深めたいです。
- ・勉強不足の部分で分かりにくかった。後見人申請をして、決定するまでの間の対応に困ることがあり流れを知りたい。

◆ その他

- ・成年後見制度について丁寧に教えてもらえた。内容は少し難しかった。
- ・成年後見制度、特に死後事務についてとても難しい内容でしたが、学べてとても良かったです。

6. 多職種でのグループワークについて、当てはまるものを選んでください（複数回答可）。

選択肢	医療		在宅		その他		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自分とは違う視点を知ることができた	12	50.0%	25	53.2%	0	0.0%	37	50.0%
日頃の業務を振り返るきっかけになった	10	41.7%	17	36.2%	0	0.0%	27	36.5%
時間が短いと感じた	0	0.0%	4	8.5%	0	0.0%	4	5.4%
特に印象は残らなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	8.3%	1	2.1%	3	100.0%	6	8.1%
合計	24	100%	47	100%	3	100%	74	100%



【ご意見・ご感想について】

◆ 医療

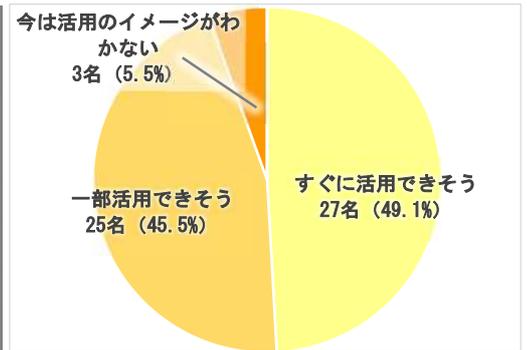
- ・日頃からの確認（家族や生活状況など）をしていくことが大切だと改めて感じた。
- ・「身元保証会社を紹介することがある」との話聞き、今後、紹介するかは別として情報は持っておきたいと思いました。
- ・包括の業務について知ることができました。
- ・テーブルが広かったため、聞こえにくかった。

◆ 在宅

- ・対象ケースを多く持つ病院の方の情報を聞いて学びになった。
- ・自分が経験していない部分で注意点を知ることができた。
- ・いろいろな意見を聞くことができ、これからの仕事に活かします。
- ・包括・施設・病院の各業務や対応について話を聞くことができ、色々な視点での支援について勉強になった。
- ・各々の事例について活発に意見交換できて良かった。
- ・色々なケースの話を知ることができたが、時間が短く感じました。病院のワーカー業務の大変さも理解できました。
- ・各々の意見が聞いて良かった。MSWの大変さが良く分かった。引き続き、連携していきたい。
- ・病院のケースやケアマネのケース等について聞くことができ、今後の支援につなげることができると思います。
- ・多くの方が身寄りのない方の支援で困っていることが共感できました。いろいろな話を聞いて良かったです。
- ・病院ワーカーの参加があつて良かった。色々聞いて課題も共有できた。
- ・病院での対応の実際について知ることができました。
- ・多職種で違う視点に気づけた。
- ・病院側の考えや支援について聞くことができた。
- ・多職種の意見を多く聞くことで学びが多かった。

7. 今回の研修内容は、今後の業務で活用できそうだと感じましたか。

選択肢	医療		在宅		その他		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
すぐに活用できそう	11	61.1%	15	44.1%	1	33.3%	27	49.1%
一部活用できそう	5	27.8%	18	52.9%	2	66.7%	25	45.5%
今は活用のイメージがわからない	2	11.1%	1	2.9%	0	0.0%	3	5.5%
活用は難しいと感じた	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	18	100%	34	100%	3	100%	55	100%



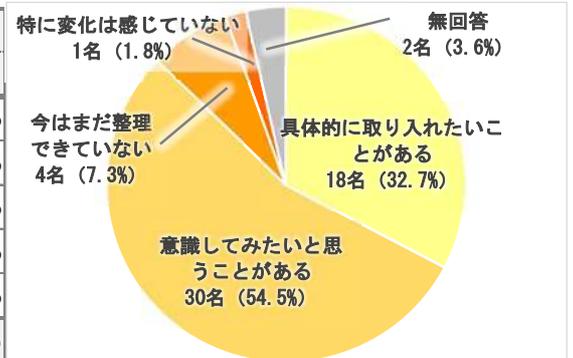
【ご意見・ご感想について】

◆ 在宅

- ・担当している方が独居や高齢者世帯だったら…とイメージができたので、今後の支援に役立てたい。
- ・ぜひ活用します。
- ・身寄りのない方が亡くなった時、那覇市で対応できる条件を事業所で共有したいと思う。
- ・資料をセンター内で共有していきたい。
- ・事業所に持ち帰って、職員に共有したいです。
- ・死亡地で対応部署が変わることを初めて知りました。生保との関連の表などもあり、見やすく整理できて良かったです。
- ・とても勉強になりました。これから情報を集めてマニュアル化することも大事。

8. 今回の研修を受けて、今後の業務での意識や行動について、最も近いものを選んでください。

選択肢	医療		在宅		その他		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
具体的に取り入れたいことがある	5	27.8%	13	38.2%	0	0.0%	18	32.7%
意識してみたいと思うことがある	10	55.6%	17	50.0%	3	100.0%	30	54.5%
今はまだ整理できていない	0	0.0%	4	11.8%	0	0.0%	4	7.3%
特に変化は感じていない	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%
無回答	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.6%
合計	18	100%	34	100%	3	100%	55	100%



【ご意見・ご感想について】

◆ 医療

- ・ACPや終活につながるため、把握した意向は関係機関の担当者にも繋ぐことが大切。
- ・身寄りのないご利用者に、お墓の有無、検体登録の有無などタイミングをみて聞いておくことも必要かもしれないと思いました。
- ・亡くなった後の整理について、MSWが関わるのが少ないので、知ることができて良かったです。
- ・身寄りのない方の看取りの際に、環境保全課との連携を行っていきたいと思いました。
- ・事前にどこに連絡をしたらよいのかははっきりしたので、リスト化します。
- ・組織内のマニュアル整備をすすめたい。地域のあらゆる機関で対応できることが少しずつでも増えることにつながればと思いました。

◆ 在宅

- ・本日のように、様々な立場で情報交換すると参考になることが多いと思いました。
- ・KPの確認や具体的な死後の希望について。
- ・日頃から支援者について、本人から引き出せるようにしていく。
- ・本人の意思決定に沿ったガイドラインを作るなど事前の準備はしておきたい。
- ・関わりがある方の情報を関係機関と共有していくことで、急な対応をしないといけない時に慌てずに済む。
- ・死後事務に関する相談を実際に受付しているため取り入れていきたい。
- ・事務所内で共有していきたいです。
- ・環境保全課への事前相談など必要に応じてやってみようと思います。
- ・まずは制度を調べて利用者を照らし合わせたい。
- ・特に独居の方の情報収集をしておく。
- ・今はまだ整理できていないが、意識していきたい。
- ・事前に情報共有していきたい。

9. 今後取り上げてほしいテーマや、さらに深めたい内容や感想等、ご自由にご記入ください。

◆ 医療

- ・生活保護について（申請、代理申請、条件、結果までの期間等）
- ・入院中の方が今後施設希望と生保申請の希望があり、こういった条件等があるか
- ・若い人で身寄りのない方の支援。亡くなるケースだけではなく、入院中や退院後のサポートについて知りたい。（高次機能障害で、失語症がある方など）

◆ 在宅

- ・外国人の方の対応や言葉の壁
- ・障害と介護の優先やその関係性
- ・AIの利用等についても勉強したい。
- ・新たな「第二種社会福祉事業」について
- ・亡くなる前の対応が大変という声が多かった。
- ・身寄りがない方でも本人らしく生きていく、本人の意向が尊重されるべきで、ACPIにも関わってくると感じました。今日は色々と勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても学びになった。
- ・身寄りのない方の今後の不安の相談が増えているので、伝えていきたい。
- ・安全に情報のやり取りを行う仕組みづくりができれば良いと思う。